

プラットフォーム名：とっとりプラットフォーム 5+α

様式2) 中長期計画に対する自己評価 (1 ページ以内) ※計画策定から1年以上のプラットフォームのみ記入	
全体評価	S : 当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。
A	A : 当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。
	B : 当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。
	C : 当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。
	D : 当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。
評価理由	取組項目数 17 個のうち、S 評価 3 個、A 評価 13 個、B 評価 1 個、C 評価 0 個、D 評価 0 個 [様式 3) 達成目標・活動指標等を参照] S → 5 点、A → 4 点、B → 3 点、C → 2 点、D → 1 点として計算した加重平均点は、4.1 点。 これを勘案し「A」評価とした。 ※算式 : $(5 \text{ 点} \times 3 + 4 \text{ 点} \times 13 + 3 \text{ 点} \times 1) \div 17 = 4.1 \text{ 点}$ 。
評価に関する備考 (考慮すべき事項)	
17 の取組項目の個別評価は、意思決定機関である運営協議会 (高等教育機関 5 団体、自治体 3 団体、経済・医療福祉団体等 9 団体) で実施している。 ※様式 1) プラットフォームの連携・協議体制図参照	

様式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内）※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入

課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
(1) プラットフォーム 構成団体の連 携強化による研 究教育力の向上	(1) 共同研究の取組 み数 【目標】 令和5年度～ 令和9年度 10本 【実績】 令和5年度1本 令和6年度2本	(取組1) 高等教育機関の連携による学びの提供	(取組1の活動指標) 公開講座 毎年1回開催	(取組1の活動実績) 令和5年度 ・1回開催 令和6年度 ・1回開催 令和7年度 ・1回開催	A
		(取組2) 社会人の学びやすい仕組みの導入と推進	(取組2の活動指標) 令和5年度～令和6年度 検討会 毎年1回開催 令和7年度～令和8年度 社会人受入れマップの見せ方 等の仕組みづくりの検討毎年 1回実施	(取組2の活動実績) 令和5年度 ・1回開催 令和6年度 ・令和6年度の検討会に向け ニーズ調査を実施	A
		(取組3) 共同FD・SD研修会の実施	(取組3の活動指標) 毎年1回開催	(取組3の活動実績) 令和5年度 ・1回開催 令和6年度 ・1回開催	A
(2) 県立美術館のサ ポート・活用	(2) 対話鑑賞プログラ ム実施回数 【目標】 毎年2回以上 【実績】 令和5年度2回 令和6年度2回 令和7年度2回	(取組4) 美術ファシリテーターの養成	(取組4の活動指標) 令和5年度～令和6年度 対話型鑑賞プログラム 毎年2回以上実施 令和7年度～ 対話鑑賞プログラム 毎年2回以上実施 (※令和7年度よりプログラ ム名称変更)	(取組4の活動実績) 令和5年度 ・対話型鑑賞プログラム 2回実施 令和6年度 ・対話型鑑賞プログラム 2回実施 令和7年度 ・対話鑑賞プログラム 2回実施	A

プラットフォーム名：とっとりプラットフォーム5+α

		(取組5) 美術館フィールドの活用支援	(取組5の活動指標) <u>令和5年度～令和6年度</u> 美術館関係者による講座 毎年1回開催 <u>令和7年度～</u> 美術館施設の授業等での活用 毎年1回実施	(取組5の活動実績) <u>令和5年度</u> ・県立美術館関係者による講演会1回実施 ・県立美術館フィールドを活用した建築人材育成事業として 県外関連施設視察2先実施 <u>令和6年度</u> ・「アートを活かしたまちづくり」に関する知見者による講演会1回実施 ・県立美術館フィールドを活用した建築人材育成事業として 県外関連施設視察1先実施 <u>令和7年度～</u> ・2回実施 鳥取看護大学授業1回 鳥取短期大学授業1回	A
		(取組6) 美術館のサポート	(取組6の活動指標) <u>令和5年度～令和6年度</u> 構成大学等教員への聞き取り 毎年複数人 <u>令和7年度～</u> 県民ギャラリーの活用推進・集客支援毎年1回実施	(取組6の活動実績) <u>令和5年度</u> ・聞き取り候補者選定に係る協議を実施 <u>令和6年度</u> ・美術館開館後(令和7年度)に向けた県民ギャラリーの活用準備 <u>令和7年度</u> ・1回実施(学生アートギャラリー開催)	
(3) 若者定着による人手不足の解消	(3) 県内高等教育機関の県内就職率(県内就職者数/就職者数) 【目標】 令和9年度 38% 〔大学別目標〕 鳥大25%	(取組7) 産業界との連携による産業人材の育成	(取組7の活動指標) 大学等教員による社会人のキャリア形成等研修毎年1回開催	(取組7の活動実績) <u>令和5年度</u> ・鳥取県看護職員実習指導者養成講習会1回実施 <u>令和6年度</u> ・鳥取県看護職員実習指導者養成講習会1回実施 <u>令和7年度</u> ・鳥取県看護職員実習指導者養成講習会1回実施	A

プラットフォーム名：とっとりプラットフォーム5+α

	環境大25% 米子高専22% 看護大80% 鳥短80%			・鳥取県社会福祉協議会福祉人材研修事業（とっとりプラットフォーム5+α協力分）1回実施	
	【実績】 令和5年度 34.4% 〔大学別実績〕 鳥大23.1% 環境大19.1% 米子高専 14.6% 看護大70.5% 鳥短82.6%	（取組8） 学びと関連した移住・定住の促進	（取組8の活動指標） 県外説明会 毎年1回参加	（取組8の活動実績） 令和5年度 ・来年度実施に向けた協議を実施 令和6年度 ・2回参加	A
	令和6年度 33.2% 〔大学別実績〕 鳥大21.5% 環境大20.0% 米子高専 10.7% 看護大73.9% 鳥短82.2%	（取組9） ラーニングワーケーション環境の整備	（取組9の活動指標） 検討会 毎年1回開催	（取組9の活動実績） 令和5年度 ・検討会1回開催 令和6年度 ・検討会1回開催	A
		（取組10） 若者の県内定着の推進	（取組10の活動指標） 企業説明会等 毎年2回開催	（取組10の活動実績） 令和5年度 ・とっとり企業ガイダンス1回開催 ・とっとり企業紹介フェア1回参加 令和6年度 ・とっとりインターンシップセミナー&個別相談会1回参加 ・とっとり就職フェア1回参加	A
（4）地域交通の維持・利用促進	（4）JR通学利用率 （高等教育機関別に目標値設定） 【目標】 令和9年度 5%UP ※令和4年度比 ※鳥取大学を除く 令和9年度 26.8% 〔大学別目標〕	（取組11） JRの利用促進と駅（周辺）の魅力づくりへの参画	（取組11の活動指標） 県補助金活用等による活動の実施 毎年1活動	（取組11の活動実績） 令和5年度 ・鳥取短期大学1活動 （成果物である公共交通利用促進ポスターをJR車内およびバス後部板へ掲出） 令和6年度 ・鳥取短期大学1活動 （成果物である公共交通利用促進ポスターをJR車内およびバス後部板へ掲出） ・鳥取看護大学1活動 （公共交通利用促進を目的と	S

プラットフォーム名：とっとりプラットフォーム5+α

	環境大7.68% 米子高専 24.8% 看護大43.2% 鳥短66.8% 【実績】 令和5年度 21.2% 〔大学別実績〕 環境大2.8% 米子高専 20.8% 看護大34.2% 鳥短58.6% 令和6年度 21.7% 〔大学別実績〕 環境大3.5% 米子高専 20.9% 看護大49.3% 鳥短54.5%	(取組12) 交通弱者に対応した新たな地域交通インフラの検討	(取組12の活動指標) <u>令和5年度～令和6年度</u> 学生のモニター等参加 毎年募集の都度 <u>令和7年度～令和8年度</u> 学生のモニター等参加毎年募集の都度及び検討会毎年1回開催	した倉吉周遊マップを作成) (取組12の活動実績) <u>令和5年度</u> ・モニター2件案内 <u>令和6年度</u> ・モニター2件案内	A
(5) 地域リスクマネジメント体制の強化	(5) 防災士養成研修 参加人数 【目標】 令和5年度～ 令和9年度 累計150人 【実績】 令和5年度 28人 令和6年度 29人	(取組13) 防災士養成の促進 (取組14) 若者による地域防災活動の推進	(取組13の活動指標) 養成研修 毎年30人参加 (取組14の活動指標) 防災研修 毎年1回開催	(取組13の活動実績) <u>令和5年度</u> ・参加者数28人 <u>令和6年度</u> ・参加者数29人 (取組14の活動実績) <u>令和5年度</u> ・来年度実施に向けた協議を実施 <u>令和6年度</u> ・各大学の防災サークルの共同 防災研修「人と防災未来センター」視察を実施 <u>令和7年度</u> ・9月の研修開催に向け企画立案及び各大学の防災サークルと調整を実施	B A

プラットフォーム名：とっとりプラットフォーム5+α

(6) 地域福祉活動への学生の参加促進	(6) あいサポーター研修への参加学生数 【目標】 令和5年度～令和9年度 累計500人 【実績】 令和5年度 8人 令和6年度 401人	(取組15) こども食堂等の情報発信と学習支援	(取組15の活動指標) 令和5年～令和7年度 こども食堂への学生の参加の 進め方検討 毎年1回実施	(取組15の活動実績) 令和5年度 ・4回実施 令和6年度 ・検討会にあたり、こども食堂 の状況調査を実施	A
		(取組16) アドボカイト・こどもサポーターの養成	(取組16の活動指標) サポーター養成研修への参加 毎年10人	(取組16の活動実績) 令和5年度 ・鳥取短期大学(2人) 令和6年度 ・鳥取短期大学(94人)	S
		(取組17) 地域福祉理解と活動の推進	(取組17の活動指標) あいサポーター研修への参加 毎年100人	(取組17の活動実績) 令和5年度 ・鳥取大学(8人) 令和6年度 ・鳥取大学(10名) ・公立鳥取環境大学(4名) ・鳥取看護大学(74名) ・鳥取短期大学(295人) ・鳥取看護大学・鳥取短期大学 合同(18名)	S

◆「活動実績」は、令和7年7月31日までの取組状況について記載。

◆「評価」については、下記を参照し記載。

S：当初の取組計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。

A：当初の取組計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。

B：当初の取組計画について、期間中には十分な成果が出ておらず、目標の達成に継続した努力が求められる。

C：当初の取組計画について、未達のため取組内容や目標等の一部見直しが必要である。

D：当初の取組計画について、目標の達成見込みがないため、取組内容や目標等に関して抜本的な見直しが必要である。